

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しの説明を聞いたり、言い換えて確認したりすることで、相手の話に関心を持って聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があってもつながりを示す語句に注意したり、具体例を参考にしたりしながら、内容を憶測するなどして聞き続けることができる。 ・100 語程度の文章の聞き取りで、メモを取るなどして、事実や意見の概要などをとらえることができる。 ・対話や討論などを聞いて、それぞれの主張を理解し、事実と意見や考えを区別しながら聞き続けることができる。 ・自然な速さで話された 30 秒程度の対話や討論を聞き、話し手の意見や立場を理解して、自分の考えを持つことができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を活用しながら 400 語から 600 語程度の教科書の文章を読んで、事実や書き手の意見や考えを正確にとらえ、内容についての自分の考えを持つことができる。 ・教科書の文章で未知の語句があっても既習の知識などを用いて推測するなどして読み続けることができる。 ・教科書の文章などの単語の発音および文章のリズムやイントネーションに注意して、聞き手に的確に伝わるように音読することができる。 ・30 語程度の文章を、意味を理解したうえで、英語の音声的な特徴に注意しながら暗誦することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、論点やそれに関わる根拠を明確にとらえることができる。

学習指導要領		東京都立松原高等学校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方を選択することができる。 ・ポスター、チラシ、掲示物、グラフ、図表などから情報を読み取ることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 ・1年間に教科書以外の長文補助教材を2冊読む。 ・教科書の文章の内容を理解したうえで、英語の質問を聞いて根拠を示すなどしながら複文で答えることができる。 ・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用してワークシートなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。 ・ペアやグループで意見交換したり、結論を導いたりすることができる。 ・単語の発音に気を付けながら、十分な声の大きさや適切な速度をもって話すことができる。 ・ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションで必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解することができる。
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について、書く目的に応じて 50 語～100 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、パートごとに、50 語程度の要約文を書くことができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見、理由を含めて 50 語～100 語程度で書くことができる。 ・トピックセンテンス、サポーティングセンテンスなどを要点やつながりを示す語句を適切に使いながら表現し、論理の一貫性がある文章を書くことができる。 ・図表やグラフを利用しながら相手に伝わる文章を書く

学習指導要領	東京都立松原高等学校 学カスタンダード
	<p>くための語句や表現を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて英和辞典・和英辞典を積極的に活用して書くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。